



ニッポン・ニュー・マーケット - 「ヘラクレス」

平成 15 年 10 月 29 日

各位

大阪府中央区瓦町三丁目 5 番 7 号
株式会社アドバンスクリエイト
代表取締役社長 濱田 佳治
(コード番号 8798)
(連絡先) 執行役員経営管理本部長 千田吉裕
電話 06-6204-1193

業績（営業収益）予想の上方修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14 年 11 月 13 日の決算発表時に公表した業績（営業収益）予想を下記のとおり上方修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 15 年 9 月期通期業績予想数値の修正（平成 14 年 10 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,600	300	170
今回修正予想 (B)	1,865	220	125
増減額 (B - A)	265	80	45
増減率 (%)	16.6	26.7	26.5
前期 (平成 14 年 9 月期) 実績	913	81	45
前期 (平成 14 年 9 月期) 比 (%)	204.2	271.2	274.8

2 15 年 9 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 14 年 10 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,600	310	180
今回修正予想 (B)	3,045	225	130
増減額 (B - A)	445	85	50
増減率 (%)	17.1	27.4	27.8
前期 (平成 14 年 9 月期) 実績	1,030	81	45
前期 (平成 14 年 9 月期) 比 (%)	295.6	276.2	284.6

3 修正の理由

(1) 個別業績予想について

当社の主力とする保険通販事業のビジネスモデルは、プロモーション費用を費用発生該当期に計上した後、該当期以降に長期間にわたって営業収益を計上する事となります。このため、保険契約という長期間にわたって営業収益を生む「簿外資産」を保有しているとも考えられます。従って、当社の事業目標は期間損益と将来収益の増加額の合計額を最大化する事であり、そのためには、ある程度期間損益を犠牲にする方が将来収益の増加が加速できる事になります。

結果、当期におきましては通期申込件数7万件と言う目標を念頭におきつつ、その「簿外資産」の最大化に軸足をやや移すことにより、期初第4四半期には減少させる計画でありましたプロモーション費用を増加させ、営業収益は公表値を上回る(16.6%UP)事となり業績(営業収益)予想の上方修正を行うものであります。

加えて今期第3四半期より注力してまいりました「対面営業」が当初の予想以上に好業績を挙げ、第4四半期には常設部門として活動することにより更に営業収益の増大に貢献した事もその要因であります。

(2) 連結業績予想について

個別業績予想の修正に加え、連結子会社の「広告営業売上」が当初予想に比べ好業績であった事により業績予想修正を行うものであります。

<p>(注) 上記の業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。</p>
--

以 上